

# 右京区

## 学区を越えて つながろう！ 井戸端カフェ かわらばん

第5号 平成30年3月

制作 学区を超えてつながろう！  
井戸端カフェ企画チーム

『まち価値・魅力向上大作戦』の2年目、  
モデル学区の取組を進めています！

### 『まち価値・魅力向上大作戦』とは

右京区では、区内の地域コミュニティの活性化をさらに進めるために、右京区自治会連合会が主体となって始まった『自治会・町内会ステキ』プロジェクトの成果を生かそうと、平成28年度から『まち価値・魅力向上大作戦』に取り組んでいます。

これまで井戸端カフェなどを通じて、地域コミュニティの課題について話し合い、さまざまなアイデアやヒントを出し合ってきました。その成果を実際にモデル学区の取組を中心に、右京区ならではの地域コミュニティ活性化を進めてきました。

### H29年度 モデル学区の取組紹介① 葛野学区の取組

平成28年度は、チラシの作成・配布やイベントでのブース設置など、自治会・町内会加入の呼びかけを中心に取り組みました。平成29年度は、加入促進に向けてどんなことができるか、学区の現状把握と具体化に向けて、5つの取組を進めました。

#### ① 町内会運営に関するアンケート

学区内の町内会長から、「自分たちの町内会の運営を考える参考に、他の町内会がどのような運営をされているか情報共有ができれば」という声が出されました。そこで、各町内会がどのような運営をされているのか、町内会の運営全般についてアンケート調査を実施しました。

その結果、【町内会費】は、



年額六千円（月五百円）が最も多く（全町六千円以下でした）、【町内会長の選出】は、くじ引きが最も多く、ついで輪番制・協議となっていました。また【町内会イベントの実施】は、役員の担う役割が大きく、その分負担が大きくなっている傾向が分かりました。【高齢者の負担軽減】を実施されている町内はありましたが、【共働き世帯】の負担軽減をされている町内はありませんでした。

アンケート結果を町内会長ら

#### ② 学区内のマンションの実態調査

全員で確認しましたが、運営状況について情報共有が進み、今後の運営を考える際の参考資料となったと皆さんに好評でした。

葛野学区では、近年新たに居住される方も増え、子育て世代を中心に人口・世帯数が増加しています。一方で住民の70%以上がマンションなどの共同住宅に居住されており、特にマンションにお住まいの方の自治会・町内会加入促進は大きな課題になっています。そこで、まずは学区内のマンションの現状を把握するために、自治連役員が中心となり実地調査を始めました。

学区内の町内会ごとにマンションの位置を地図に落とし、戸数や階数、管理人やオートロックの有無、分譲／賃貸やファミリー向け／単身者向けの別、町内会への加入状況などを確認していきまし

た。まだ全町内会分は把握できていませんが、今後はファミリー層の居住、オートロックなしのマンションを中心に、町内会への加入呼びかけを行っていく予定です。

### ③ 子育て世代の町内会に対する意識調査

マンションの現状把握とともに、子育て世代の自治会・町内会に対する意識を知るため、葛野学区の近隣の4つの幼稚園・保育園の協力を得てアンケート調査を行いました。

【自治会・町内会への加入の有無】については、未加入者には「未加入の理由」を聞き、さらに子育て世代のニーズの把握に向けて「町内会に期待すること」についても質問しました。

その結果、回答者の約60%は自治会・町内会に加入されていましたが、未加入の理由として多くの方が「入るよう誘われていないから」「自治会・町内会のことがよくわ

からないから」という点を挙げられていました。また自治会・町内会に期待することとして、「子どもの安心・安全」

「地域ぐるみの子育て」、「地域の交流」などが多く挙げられました。こうした点から、子育て世代にもっと自治会・町内会のことを知ってもらおうとともに、ニーズに応えられるような活動を考えることも重要ということがわかりました。

### ④ モデル町内会を設定したきめ細かな取組へ

平成28年度、町内会長の意見交換会で「学区全体よりそれぞれの町内の個性に合わせた取組が必要」という意見が多く出されました。そこで、個別の町内会での地域コミュニティ活性化の取組を進めたいために、3つの町内会に声をかけて、モデル町内会として取組をスタートしました。3つの町内会では、それぞれ住民の皆さんへのアンケートなどを実施されていますが、取

組の進め方を相談しながら今後に向けて準備中です。

また学区内にある京都光華女子大学学生有志が、町内会長へのヒアリングなどに取り組んでくれました。今後、地域の課題の解決策などに向けて一緒に考えていきます。

### ⑤ 子育て世代の自治会加入の促進に向けた意見交換会

平成29年度も、学区の町内会長を対象に、今後の地域コミュニティ活性化に向けた意見交換を行いました。今回は「子育て世代の加入に向けて」をテーマに、葛野学区に関する統計資料、さらに他地域の事例を集めた「取組アイデア紹介カード」などを参考にしながら約50人で話し合いました。

その中で、「地域の行事を把握できていない若い人が町内会長になった場合、何をしたらいいのかわからない」、「歴史がある地域では若い会長は思い切ったことができない」

などの意見も出されました。

一方で「マンション住民の高齢化や世代の幅が広いことから行事の実施が難しい」など、町内の現状のついて多くの意見が出されました。

今後の取組については、未加入者も含めた積極的な情報発信、自治会加入のメリットづくり、ライフスタイルに合わせた会員の仕組みづくりなどについて多くの意見が出されました。これらの意見を踏まえて平成30年度の取組を進めていきます。

### H29年度 モデル学区の取組紹介② 西院第二学区の取組

平成28年度は、学区の活動を紹介するHPの充実、イベント時に自治会・町内会に関する意見収集を行うなどの取組を進めました。平成29年度は、情報発信と並行して学区の現状把握を進めるなど、2つの取組を進めました。

### ① 西院ふれあいまつりでの意見収集ブースの設置

11月5日に西院中学校で開催された「西院ふれあいまつり」にて、西院中学校の中学生ボランティアにも協力いただき、西院地域への意見や思いについてアンケート調査を実施しました。平成28年度に引き続き実施したアンケートですが、若い子育て世代、さらに自治会・町内会未加入世帯の意見を多く集めることができました。

【学区の良いところ】については、「地域のつながり」が最も多く、「利便性がよい」という意見を合わせると約46%と半数近くを占めました。【学区の困りごと】については、「治安」「交通」などが多く、「子どもの遊び場」「学校関係」なども含めて、子どもに関わる意見が多く出されました。若い世代の関心としては、やはり子育てや子どもの教育に関するものが大きいことがうかがえます。



【自治会・町内会活動で改善すべき点】は、「情報提供」が多く出されました。賃貸マンション居住者の中にも自治会・町内会に関心を持つ方はある程度おられるようで、マンションに自治会・町内会がないから入りたくても入れないという声も多く聞かれました。マンション全体で新たな自治会・町内会設立は難しいのですが、個人的には関心があるという方が参加できる方法を考えることも必要と考えられます。

【自治会・町内会活動に期待したいこと】は、「交流の機会を増やすこと」が多く出されましたが、運営面の負担を増やさず、こまめに交流できる機会づくりなどを考えることも必要と考えられます。

## ② 学区の活動を紹介するHPの周知、活用促進

「西院ふれあいまつり」でのアンケートでは、西院第二学区のHPについてもお聞きしました。

【西院第二学区のHPを知っているか】は、「知っている」が約43%でした。また

【何でHPを知ったか】は、「検索」が約44%、「口コミ」が約24%、「チラシ」約20%の順になっていました。学区の行事予定や活動報告、学区の情報伝達や連絡ツールとして活用していますが、バナー広告の確保など、しっかりと継続していく中でさらに便利なツールとして周知を広げていきたいと思っています。

## H29年度の井戸端力カフェの様子

一年間の活動を振り返ってその成果をみなさんと共有することを目的に、今年度も2月26日（月曜日）に井戸端力カフェを開催しました。学区の自治連合会会長や役員、地域のこれからに関心のある区民など、右京区内の様々な学区から約20名の方が集まり、右京区役所1階のMACHIKOを会場に意見交換を行いました。

意見交換にあたって、学区や町内の現状把握がしやすいように【学区ごとの統計資料】そして今後の取組アイデアを引き出しやすいように他地域の事例を集めた【取組アイデア紹介カード】を用意し、活用していただきました。

## ① モデル学区の取組報告

まずモデル学区の葛野学

区、西院第二学区の取組を報告しました。2つの学区ともマンションが多く立地する地域であり、若い世代、子育て世代の加入促進が課題となっています。それぞれの学区で集めた子育て世代の意見からは、入らない理由として「入るよう誘われていないから」「自治会・町内会のことがよくわからないから」ということ



## ② 京都光華女子大学の取組紹介

モデル学区の報告の後、京

が多く挙げられた一方で、「マンションに町内会がないから入りたくても入れない」という声があつたことも紹介されました。

報告を受けて、特に充実した学区HPの運営を継続している西院第二学区の取組について質問があり、HPの管理などについてさらに詳しく情報提供をしていただきました。

都光華女子大学学生有志の皆さんから、自治会・町内会の活性化に向けて、大学に隣接する町内会を対象に詳細な聞き取り調査について紹介していただきました。主に町内会の運営についての課題を整理されましたが、町内会の運営において、役員の高齢化が進み、さらに役員の負担が大きくなっていることが挙げられていました。

### 3 意見交換を通じて

取組の報告や紹介の後、参加者の皆さんで少人数のグループに分かれて意見交換を行いました。「若い世代、特に子育て世代の加入をどう促すか」、「役員に集中する負担を減らすためには」、「一人暮らしの学生に加入してもらうには」などの話題を中心に学区や地域を越えて熱心に意見交換をしていただきました。

こうした課題に対して、「子どもの頃から親しんでもらう



こと、そして中学生や高校生となつてからも接点を持ち続けることが必要」、「地域で頼れる人がいない学生と地域では、お互いにニーズがある。普段から学生を地域とつなげるきっかけづくりが重要」という意見が出されました。また「ワンルームだから無理、と思ひ込まないように」という意見も出されました。

## 地域で取り組むときの、活動のヒント

井戸端カフェでの活動報告や意見交換を通じて、地域コミュニティの活性化、自治会・町内会の加入促進を進めていくにあたって「知ってもらふこと、伝えること」、そして「こまめにお誘いしていくこと」が大切だとわかりました。

### まず自分たちの地域を調べてみる

井戸端カフェでは、統計資料などをみて「うちの町内にこんな人がいたのか」と改

めて気づかれた方もおられました。まずは統計資料などを活用して、地域の現状を知ることから始めてみましょう。また意見交換の中で、「ワンルームだから無理、と思ひ込まないように」という意見もありました。若い世代だけでなく、地域の皆さんがどんな思いや希望をもっているのかを知るために、アンケート調査などをしてみるのもよいかもしれません。

### 皆さんの会話を進める道具

学区や町内の会議で、皆さんで今後の取組を考えていく機会もあると思います。そのような時にはゼロからアイデアを出していくのではなく、似た課題を持つ他地域の活動を参考にしていくことがよいと思われます。井戸端カフェでは、『取組アイデア紹介カード』を活用しました。インターネットで検索して、参考にできる事例をいくつか集めて紹介すると、学区や町内の会議でもたくさん意見を出し合うことができると思います。

## 地域コミュニティ活性化の取組に助成します！

学区や自治会・町内会などの皆さんによる地域活動を応援するため、京都市では地域コミュニティ活性化に向けた地域活動支援制度を設けています。

自治会・町内会への加入促進の取組や、加入者と未加入者の交流・協働を促進するための取組に対して1団体2回まで、1回目は最大10万円、2回目は最大5万円の助成が受けられます。

詳しくは、右京区役所地域力推進室まちづくり推進担当（電話番号：861-1264）までお問い合わせください。

